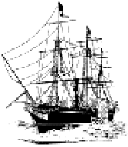
伊豆の太陽・下田
市議会だより

第26号
平成20年５月15日



発行・下田市議会　編集・議会だより編集委員会　〒415-8501 下田市東本郷１丁目５番18号　☎0558（22）2220〈直通〉

お吉まつり　３月27日
稲生沢小・中学生による河内太鼓の演奏

３月定例議会

平成20年度　一般会計予算は修正可決

三月定例議会は、三月六日から二十六日までにわたり開催されました。

この定例議会では、下田公園（あじさい園）有料化の条例案が否決されたため、平成二十年度下田市一般会計予算は、修正案で可決されました。

十日には、市長の平成二十年度の施政方針演説があり、予算全般としては、下田市の財政健全化がより進んだ予算となりました。

四月より保険料が年金より天引きされる後期高齢者医療制度（長寿医療制度）と基本健診に変わり、特定健診（メタボ健診）が始まります。

３月議会日程

６日	本会議	開会 会期の決定 会議録署名議員の指名 諸般の報告 下田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について 議案審議(質疑・委員会付託)
７日	委員会	付託議案審査
10日	本会議	委員長報告 （質疑・討論・採決） 平成20年度施政方針 一般質問
11日	本会議	一般質問
12日	本会議	一般質問 議案審議 （質疑・討論・採決又は委員会付託）
13日 14日	本会議	議案審査(質疑・委員会付託)
17日〜25日	委員会	付託議案審査
26日	本会議	委員長報告 （質疑・討論・採決） 閉会

２月議会日程

26日	本会議	開会 会期の決定 会議録署名議員の指名 諸般の報告 議案審議(質疑・委員会付託)
	委員会	付託議案審査
27日	委員会	付託議案審査
	本会議	委員長報告 (質疑・討論・採決) 閉会

二月臨時議会

南伊豆地区一市三町合併協議会の設置について下田市・河津町・南伊豆町は可決。松崎町は否決！（再提案も否決）
松崎町・町民グループ、住民発議で合併協議会設置を目指す。

二月臨時議会は、「合併協議会の設置について」が主な議案であり、一市三町同時の議会開催でした。

その他、職員の不祥事に対し、市長及び副市長が給与カットを行いました。

三月定例議会

二十九件の議案を審議、他二件の意見書

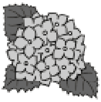
三月定例議会は、平成十九年度の補正予算、八件の条例改正、平成二十年度当初予算を審議しました。

集中改革プランのなか、平成二十年度も厳しい予算編成となり、市職員の皆さんにもご協力いただき、六・八％（約一億円）の給与のカットとなりました。

下田公園あじさい祭、期間中の有料化の条例案を否決
平成二十年度予算案、修正可決
（詳しくは産業厚生委員会のページをご覧ください）

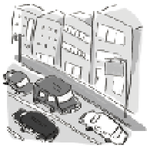
あじさい祭の期間中、下田公園を有料化（市民は無料）しようとした条例・下田市都市公園の一部を改正する条例の制定についてが、反対多数で否決となり、この条例を前提に組まれた、平成二十年度予算が一部修正されました。

産業厚生委員会での審議で賛否同数となり委員長裁決で可決、本会議でも賛否同数となり議長裁決で否決となりました。



暫定税率廃止

暫定税率廃止による下田市特定財源への影響額は、約六千五百万円で、不足分は財政調整基金で対応する事となります。間接的な影響については予測が出来ず、急傾斜地等県の事業に影響が出る可能性があるということです。



一般質問

藤井六一（民友会）
◆財政健全化について
・市債の縮減と行政サービスについて
・市長ら常勤特別職の退職金返上について
◆歴史遺産「下田城址」の保存等について

沢登英信（日本共産党下田市議団）
◆不正違法な廃棄物行政の改善について
◆財政再建とまちづくりについて
◆共立湊病院問題と医療体制の充実について

土屋誠司（至誠会）
◆美しい原風景づくりについて
◆急速な少子化での未来の人づくりについて

田坂富代（清正会）
◆教育について
・学校図書館について
・地域図書館について
・子どもの読書活動推進基本計画について
・ブックスタートについて
・国民文化祭について

鈴木　敬（政新会）
◆合併と共立湊病院の問題について
◆下田市の経済政策について
◆社会保障制度について
・人生前半の社会保障である教育について
・後期高齢者医療制度について
・特定健診と特定保健指導について

伊藤英雄（政和会）
◆経済的困窮者の妊娠中及び出産後の育児支援について
◆ベイステージ下田の指定管理者と施設の活用について
◆観光政策について

岸山久志（清正会）
◆市内各地域代表者ネットワーク会議設立について
◆旧町内の美的景観について
◆下田市内各小学校のＡＥＤ設置について
◆下田高校定時制への補助金について
◆国際カジキ釣り大会について

２月臨時議会審議結果

番号	２月臨時議会議案件名	審議結果
議第１号	南伊豆地区１市３町合併協議会の設置について	原案可決
議第２号	下田市特別職の常勤職員給与支給条例の特例に関する条例の制定について	原案可決
議第３号	平成19年度下田市一般会計補正予算（第6号）	原案可決

３月定例議会審議結果

番号	３月定例議会議案件名	審議結果
議第４号	平成19年度下田市一般会計補正予算（第７号）	原案可決
議第５号	平成19年度下田市稲梓財産区特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議第６号	平成19年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決
議第７号	平成19年度下田市介護保険特別会計補正予算（第４号）	原案可決
議第８号	平成19年度下田市集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第９号	平成19年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第５号）	原案可決
議第10号	平成19年度下田市水道事業会計補正予算（第５号）	原案可決
議第11号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更について	原案可決
議第12号	静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議第13号	静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議第14号	下田市後期高齢者医療に関する条例の制定について	原案可決
議第15号	下田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第16号	下田市特別職等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第17号	下田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第18号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第19号	下田市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第20号	下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第21号	下田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	否決
議第22号	平成20年度下田市一般会計予算	修正可決
議第23号	平成20年度下田市稲梓財産区特別会計予算	原案可決
議第24号	平成20年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計予算	原案可決
議第25号	平成20年度下田市公共用地取得特別会計予算	原案可決
議第26号	平成20年度下田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議第27号	平成20年度下田市老人保健特別会計予算	原案可決
議第28号	平成20年度下田市介護保険特別会計予算	原案可決
議第29号	平成20年度下田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議第30号	平成20年度下田市集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第31号	平成20年度下田市下水道事業特別会計予算	原案可決
議第32号	平成20年度下田市水道事業会計予算	原案可決
発議第１号	医師、看護師等の不足を解消し、地域医療体制の確保を求める意見書の提出について	原案可決
発議第２号	介護労働者の待遇改善を求める意見書の提出について	原案可決
	下田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	選挙
	議会運営委員会の閉会中の継続調査について	継続調査

総務文教委員会

委員長　土屋雄二
副委員長　田坂富代
委員　沢登英信　伊藤英雄
　土屋誠司　増田　清
　森　温繁

本委員会に付託された議案は

下田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員の育児休業等に関する法律は、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするための法的環境整備として平成三年十二月に制定されました。育児休業を取った職員が、人事管理や昇給、昇格等において不利益な取り扱いを受ける事が無いように配慮し、育児休業を取りやすい環境を作る事により少子化対策にも資すると言う事が大きな目的です。

（部分休業） 部分休業の承認は、正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、三十分を単位として取る事ができる、に改め業務への支障を極力抑制し部分休業を取りやすくしたものです。

下田市では過去一度も部分休業を取った人はありませんが、委員の中から保育園の送り迎えの時間にも活用出来るので、使い勝手も良く非常に良い事と思います、との意見も有りました。

下田市特別職等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

（下田市特別職等の給与の特例に関する条例） につきましては、本市の厳しい財政状況を考慮し、財政健全化を図る為のひとつの手法と致しまして、市長、副市長、教育長のほか、一般職の給与を一定の割合で減額する事について、平成十八年三月議会において議決し、市長、副市長及び教育長に付きましては、平成十八年四月から平成二十年七月四日までの間に支給されるべき給料の額を十分の一減じて支給すること、また、職員につきましては、昨年の三月議会におきまして、削減率を変更する内容で条例の一部改正を議決いたしました。職員に現下の厳しい財政事情を理解していただく中で平成十八年度、平成十九年度の二ヵ年で三億円近い削減の効果を見る事ができました。

（カット率） 二十三歳まで百分の五〈変更なし〉、十七人。二十四歳から三十三歳まで百分の六〈一％減〉、五十五人。三十四歳以上百分の六〈一％減〉、百八十七人。

（ラスパイレス指数） 平成十九年度、下田市八十八・二％、東伊豆町九十一・一％、河津町九十・九％、南伊豆町八十九・一％、松崎町九十二・五％、西伊豆町九十四・〇％、熱海市九十八・三％、伊東市一〇〇・六％と成り下田市の職員給料は県下の市町で一番安い給料です。

（平均給料月額） 平成十七年度平均年齢四十四・二歳三十三万六千五百五十四円、平成十八年度平均年齢四十四・二歳三十万三千五百六十五円カット率九・五％、平成十九年度平均年齢四十三・一歳三十万六十三円カット率七・七％、平成二十年度平均年齢四十二・七歳二十九万七千七百五十二円、三年間で三億七千万円の一般職員のみの人件費カット分となりました。

平成十八年度三十人、平成十九年度二十一人と退職者が多く出ており、近隣の町と比較して最も低い給与水準で一日も早く人事院勧告通りに直すべきだ、との委員からの意見も有りました。新規採用に他の市町からの応募も少なくなり、理数系や専門職員も集まりにくくなって来ているが、職員研修を充実し対応して行きます、との当局意見も有りました。

平成二十年度下田市稲梓財産区特別会計予算

土地貸付金、山葵田九件三十六万六千三百四十七円、東京電力二件合計二十八万九千六十一円。

平成二十年度下田市公共用地取得特別会計予算

一億二千万円で取得した土地を、観光協会に、年三百万円で貸し付けて来た今後の利用についての質問に。

道路開発等の関係で遅れて来ましたが、市営の有料駐車場として、財源確保を考えております、との事でした。

平成二十年度下田市一般会計予算

（本委員会付託事項）

一般会計予算は、八十六億一千三百万円で前年度比一億二千六百万円一・五％増。

特別会計は、百二億四千五百六十万円で七億五千三

百五十万円六・九％減。

　法人税等の落ち込みが見込まれ、固定資産税等による税収の増や地方交付税を可能な限り見込む一方、財源確保は引き続き厳しい状況で有り、給与構造改革や最小限の職員補充等、給与関係費の抑制等による経常経費の削減、事務事業の更なる見直しなどを行い、昨年に引き続き人件費のカットを行い、キャップ方式による経常経費を前年度並みに確保の上、予算編成する事が可能と成りました。

　市税は、三十二億九千九百三十三万円で前年度比一千四百九十七万一千円〇・五％減、主な要因は、現年課税分は原油高騰等グローバルな経済活動による景気の不透明感から見込んだものので有ります。

　地方交付税は、二十四億六千万円で歳入構成比の二十八・六％前年度対比一千万円の減、特別交付税は、二億八千万円で前年度対比一億一千五百万円の増、国の方針によって左右されがちですが、地域活性化施策に必要な特別枠「地方再生対策費」が創設され、当市では七千四百万円を見込んでおります。

　総務費は、十一億五千七十六万二千円歳出構成比十三・四％前年度比六千二百万四千円の増、要因は、職員減に伴う臨時雇い賃金で三千二百二十二万八千円、税源移譲に伴う個人市民税所得変動減額措置等に係わる市税の還付金五千六百六十万円、滞納整理機構負担金三百十万円、下田市長選挙費一千二百四十一万七千円、ＬＧＷＡＮ設備整備や健康情報システム・固定資産税改正に伴うシステム改修や裁判員制度に係るシステムの構築など情報政策費二千八万八千円増、一方県議会議員選挙、市議会議員選挙、参議院議員選挙、財産区議会議員選挙等の選挙関連経費で四千百八十万九千円減。市債は、六億六千七百万円前年度比一千四百三十万円二・二％増。

　教育費は、五億七千四十九万三千円歳出構成比六・六％、下田中学校屋内運動場改修工事費二千八万円増、小学校教育用パソコン保守委託六百二十三万七千円増、稲生沢幼稚園解体工事費七百三十万円、市民文化会館修善費四百六十九万九千円。

　公債費は、十二億六千八百五十九万五千円で歳出構成比の十四・七％前年度比四千三百六万一千円三・三％減、繰上償還の効果も有り、起債元金償還額が二千二百八十二万三千円減、利子償還額は一時借入金利子を含み二千二十四万円減。

　人件費・扶助費・公債費の義務的経費は、四十三億四千二百九十七万二千円で歳出構成比の五十・五％前年度対比一億八千四百八十一万四千円四・一％減、退職不補充や給与構造改革、職員人件費カットが主な要因です。

　物件費、維持補修費、補助費等の消費的経費は、二十一億一千百二十三万三千円で歳出構成比の二十四・五％前年度対比三億六千四百七十九万八千円二十・九％増。

　物件費は、職員減に係る臨時雇賃金、制度改正等に対応する電算経費の増。

　補助費等は、市民税所得

医師、看護師等の不足を解消し、地域医療体制の確保を求める意見書

　静岡県伊豆医療圏内における医師、看護師等の不足は深刻化しております。

　伊豆医療圏内に４病院あった第二次救急病院は現在２病院となりました。またお産のできる医療施設は圏内に１つ８ベットあるだけです。

　このままでは、伊豆地区は医療過疎、住民は医療難民とならざるを得ません。

　住民が安心して医療サービスを受けるためには、医師、看護師等の就業条件の改善と医療機関へのコスト保護が必要です。

　よって国県においては、必要な医師、看護師等が地域医療機関において充分確保されるよう、要望します。

介護労働者の待遇改善を求める意見書

介護労働者は、人間の尊厳にかかわる崇高な仕事をしているにも関わらず、低賃金、長時間重労働など、その劣悪な労働環境から離職率も高く、待遇改善が待ったなしの課題となっています。早期から深夜までの重労働の上、人手不足で疲れても休暇も取れない。こうした厳しい現実に直面して、このままでは生活できない、将来に希望が持てないと、耐え切れず退職していくケースが多発しております。

今後、団塊世代の高齢化などにより、少なくとも今後１０年間で４０万人から６０万人もの介護職員の確保が必要とされておりますが、介護に携わる人たちがいなくなれば介護保険制度も立ち行かなくなり、まさに介護保険制度の根幹を揺るがす問題です。

介護に携わる人たちが誇りと自信を持って仕事をできるよう、また安心して暮らせるよう、政府においては、特段の取り組みを行い、労働条件や福利厚生の向上に全力を挙げるよう強く要望します。

変動措置に係る市税還付金等が主たる要因です。

産業厚生委員会

委員長　　土屋　忍
副委員長　岸山久志
委員　藤井六一　鈴木　敬
　　　増田榮策　大黒孝行
　　　土屋勝利

本委員会では、平成十九年度下田市一般会計補正予算、平成十九年度下田市国民健康保険事業・下田市介護保険事業・下田市集落排水事業・下田市下水道事業の各特別会計補正予算と平成十九年度水道事業会計の補正予算を議会前半で審議、後半で下田市後期高齢者医療に関する条例の制定、下田市国民健康保険条例及び保険税条例の一部改正、下田市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正、下田市介護保険条例の一部改正、下田市都市公園条例の一部改正の条例案と、平成二十年度下田市一般会計予算、平成二十年度下田市下田駅前広場整備事業・下田市国民健康保険事業・下田市老人保健・下田市介護保険・下田市後期高齢者医療・下田市集落排水事業・下田市下水道事業の各特別会計予算、平成二十年度下田市水道事業会計予算を審議しました。

下田市後期高齢者医療に関する条例の制定について

平成二十年四月一日より後期高齢者医療制度がスタートします。後期高齢者医療は静岡県広域連合が運営しますが、その内下田市で行う事務事業について条例で定めるため議案が提出されました。

本会議において、後期高齢者医療制度に反対する意見も提出されましたが、すでに国で決定した内容である事から賛成多数で可決致しました。

下田市国民健康保険条例の一部改正について

今回の条例改正は、被保険者の健康の保持増進のため特定健診並びに特定保健指導を行う事が主な改正の内容です。

平成二十年四月から従来の基本健診に変わり、特定健康診査が始まります。四十歳から七十四歳の方はそれぞれ加入している医療保険者が実施する特定健康診査・特定保健指導を受け、七十五歳以上の方は後期高齢者の健診を受けます。

特定健康診査の結果、腹囲（へそまわり）が男性で八十五cm、女性で九十cm以上で①血圧が高い②中性脂肪が多い③血糖値が高いのうち一項目に該当する人は、メタボ予備群、二項目以上該当する人はメタボ該当者となり、特定保健指導を受けるようになるとの当局説

明がありました。

下田市においても、毎年右肩上りに増える医療費を抑制するため平成二十年度より積極的に実施するとの事です。

下田市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について

下田市では乳幼児（0歳から就学前まで）の医療費は四月から入院・通院時の窓口負担は、保険健診の対象外を除きすべて無料となり、所得制限も廃止となります。

この条例は昨年九月議会においてすでに改正されていますが、今回の条例改正は学校教育法等の改正に伴い文言の整理を行うものです。

下田市都市公園条例の一部改正について

今回の条例改正案は、下田公園の「あじさい園」を、あじさい祭の期間中、有料にしてその入園料を原資に、案内看板の設置、雑木の剪定、ビューポイントの整備などを行い、地元住民や観光客に喜ばれる「あじさい園」にとの事から、各種観光関連団体の要望も有り、公共料金審議会の答申を受け提案されましたが、委員会審議では、「公共料金審議会で審議した時と条例提案でのエリアが違う」「先に有料化では無く先に整備すべきだ」「有料化する事でお客は必ず減少する」「しっかりした全体計画がまったく出来ていない」などの意見が出され、採決では可否同数となり、委員長裁決で可決したものの、本会議で同じく可否同数となり、議長裁決で否決となりました。

平成二十年度下田市一般会計予算

福祉事務所関係では、災害時要援護者支援対策事業に百二十万円の予算が計上され、災害時に備え要援護

者のリストを作成するとの説明がありました。

下田市では一人世帯・高齢者世帯・障害者・介護三以上・三歳児以下など要援護者は三千七百九十人これに七十五歳以上の三千七百三十人が加わる。二年間かけて世帯調査を実施するが、プライバシーの事も有り、リスト希望者になるとの説明でした。

健康増進課関係では、小児救急の現状について委員の質疑に対し、共立病院と一ヶ月三回の契約だったが、昨年十月以降担当医師が退職したため行っていない。現在共立病院にはお願いしている。また、一般病院を利用して夜十一時ごろまで救急センター的に実施できるよう医師会にお願いしているが、お金もかかる事業でもあり、進展していないが、医師会は前向きで検討している。との先の見えない答弁でした。

環境対策課関係では、焼却灰の処理予算が年々減っているがその原因はとの質疑にゴミは年々減っている特に有料化に伴い確実に減量化が出来ているとの事でした。一般質問でも話題になった資源ゴミの単価の検証については、アルミはトン当り十四万円で二十八トン、スチールはトン当り二万九千円で百八十六トン、古紙トン当り千五百円で六百トンを売り払い代として予算計上しているが、単価については常に検証して対応するとの答弁でした。

現地視察　下田市清掃センター

産業振興課関係では商工業振興事業の内、商店街環境整備事業補助金四百万円については、商店連合会の駐車場の無人化への補助金で県から半分の二百万円の補助が有る。駐車場維持が難しくなっている。もし、駐車場が無くなった場合大打撃を受ける等強い要望があり、庁内で検討し決定したとの答弁でした。

観光交流課関係では、毎年問題になる夏期海岸対策の特に白浜大浜海岸の今年の状況について、市としては昨年同様原田区で実施してもらいたい。区の意向は昨年同様と考えている。不法営業問題は原田区に海岸へ出てもらう事を要望したい。不法営業は力で排除は難しい、経済的に締め出す方向で検討したいとの事でした。

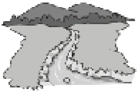
建設課関係では、歳入に「あじさい園」有料化に伴う使用料収入三百十五万円と歳出の観光費七十万円と都市計画費二百四十五万円の計三百十五万円が計上されている事に対し、一般会計予算の採決において条例と同様可否同数となり、委員長裁決で可決したものの、本会議で同じく可否同数となり、議長裁決で否決となりました。また、予算に

対する修正動議が出され、採決の結果修正可決されました。

平成二十年度下田市下水道事業特別会計予算

十二月議会において下水道料金値上げがこの四月より実施される事となりましたが、公的資金補償金免除繰上償還を行う事が出来、下水道事業特別会計において、四億一千三百万円の補償金が免除され、繰上償還による差額金利はおよそ五億四千九百万円となります。これらの事から平成二十年度に公共下水道接続改造費助成金五百六十万円が予算計上され接続率向上を図る事になりました。

平成二十年度は接続工事の助成に一戸当り七万円で八十戸を予定していますが、この助成金は平成二十一年度は一戸当り三万円となります。



平成二十年度下田市水道事業会計予算

平成二十年度における水道事業の工事請負費の総額は三億四千六百七十万円で耐震補強工事と老朽管の改良工事が主な内容です。

平成十九年度に引続き落合浄水場の耐震補強工事が実施され、落合浄水場に渡る長瀬橋は耐震が不足している事から耐震補強実施設計業務委託に六百万円、耐震補強工事に三千万円が計上されています。また、配水管の改良工事は中地区、吉佐美地区、外浦地区、蓮台寺地区、白浜地区で実施が予定されています。

現地視察　落合縄地道路

議長日誌

2・4～5	東海市議会議長会理事会（愛知県瀬戸市）
2・7	全国市議会議長会第84回評議員会（東京都）
2・13	議員合併勉強会（ベイステージ下田）
3・21	戦没者慰霊祭（市民文化会館）
3・27	お吉祭り（お吉ヶ淵、宝福寺）
3・28	寿大学閉校式（市民文化会館）
4・2	下田市消防団入団式（サンワーク下田）
4・8	静岡県東部養護学校伊豆下田分校開校式（下田小学校）
4・11	伊豆縦貫自動車道天城北道路開通祝賀会（伊豆市）
4・17	下田警察署管内防犯協会総会（下田警察署）
4・23	第97回静岡県各市選挙管理委員会連合会通常総会（ホテル伊豆急）
4・24～25	第91回東海市議会議長会定期総会及び理事会（岐阜市）
4・26～27	フラワー都市交流連絡協議会総会（鹿児島県和泊町）

◇市議会へのご意見ご要望をお寄せ下さい◇

議会を傍聴しましょう

全員協議会

2・21
○行政報告
- 水仙まつりについて
- 第19回下田市三世代意見発表交流大会について
- 共立湊病院問題について

4・16
○行政報告
- 一市三町の合併について
- 職員の懲戒免職処分について
- 4月7日～8日暴風・豪雨による被災について
- 下田小学校の校門の変更及び県立東部特別支援学校伊豆下田分校の開校について
- 稲生沢小学校放課後児童クラブの開設について

議会運営委員会

2・22
- 2月臨時会について

3・3
- 3月定例会について
- 意見書について

3・26
- 要望書について（水道使用料金改定関係）

各派代表者会議

1・21
・議会改革について

2・13
・下田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

2・27
・意見書について

3・10
・意見書について

他市行政視察

1・30
山梨県韮崎市議会議員四名が「議員定数削減について」視察されました。

2・5
香川県丸亀市議会議員六名が「美しいまちづくりプロジェクトについて」視察されました。

4・11
大阪府松原市議会議員六名が「本のリサイクルの事業概要について」視察されました。

編集後記

まわりを見わたすと、桜の花も散りそれに代わってあたり一面つつじの花や色あざやかな花が咲きみだれ、春爛漫だ。

三月議会も終わり平成二十年度当初予算が決定。今年もまた、緊縮財政の予算だ。

冬が終わると必ず春がやってくるはずなのに、下田市の財政はまだ冬真っ盛りなのが大変つらい。

（Ｓ・Ｔ）

編集委員会

◇委員長＝土屋雄二
◇副委員長＝岸山久志
◇委員＝土屋　忍
田坂富代
大黒孝行

「下田市議会だより」は再生紙を使用しています